

住友大阪セメ「循環型」訴求

住友大阪セメントがセメントの社会的価値向上の取り組みを強化している。セメント産業は製造時に膨大な「酸化炭素(CO₂)」を排出することから、2050年のカーボンニュートラル(CN)実現に向けた削減困難な産業にあたる。一方でコンクリートは大気中のCO₂を吸収する効果を持つほか、セメント製造時に大量の廃棄物を利用するなど循環型社会に貢献している。セメントの脱炭素効果を発信する動画の公開などを通じ、業界の地位向上を目指す。

(岡紗由美)

コンクリ、炭素除去に商機

セメントは製造時に aCO₃ に戻り、大量のCO₂を排出す。O₂を吸収。この結る一方で、コンクリー果、ペットボトルが潰トにすると空気中のCれるという内容だ。O₂を自然に吸収する 国立環境研究所の報特性を備える。住友大 告では、19年に日本国 阪セメントはセメント 内のコンクリートが吸 が持つCO₂吸収効果 収したCO₂は610 を分かりやすく示そう 万トと推定される。こ と、このほどコンクリ には、セメント生産時 ートを入れたペットボ におけるCO₂排出量 トルにCO₂を注入す の約4分の1に相当す る実験を収めた動画を という。住友大阪セ メントが23年に排出し 仕上げた。

コンクリートを入れたCO₂は約700万 たペットボトルにCO₂であるため、セメン₂を注入すると、セメントメーカー1社分弱のントの主成分である酸 CO₂排出量を国内の化カルシウム(Ca) コンクリートが自然にO)がCO₂と反応し 吸収していることになて炭酸カルシウム(C

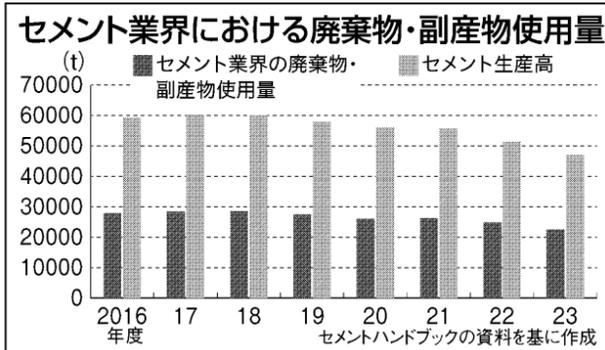


コンクリを入れてCO₂を注入したペットボトル(写真右)とコンクリを入れただけのペットボトル。数分後、CO₂を注入したペットボトルはコンクリがCO₂を吸収し潰れた

ただ、コンクリートのCO₂吸収分を排出削減に組み込む制度の整備は進んでいない。コンクリートのCO₂削減分をどの産業に振り分けるか、最終処分場の延命についても寄与する。セメント産業が国内最大規模の静脈産業の一つとされ、議論が必要になった。住友大阪

CO₂吸収、製造に廃棄物利用

暖化対策として向かうべき理想的な形だ。理に取組んでいる。セメント産業では特定の手段でCNを達成することは難しく、多様な手段を実行する必要があるためだ。小堺常務執行役員は「複数の手段を組み合わせて、削減効果を積み重ねることによってCN達成を目指す」構えだ。



セメント業界における廃棄物・副産物使用量 (t) セメント業界の廃棄物・副産物使用量 セメント生産高 セメントハンドブックの資料を基に作成

ない」と期待する。

同社はさらに、セメント産業が製造時に廃棄物を大量に再利用している点も訴求したい

考えだ。23年度のセメント生産量4704万9000トに対し、処理した廃棄物は2257万9000トと生産量の約半分を占める。セメントメーカーによる廃棄物の受け入れは、最終処分場の延命に寄与する。セメント

セメントは国内トップクラスの廃棄物処理能力を持つ栃木工場(栃木県佐野市)という強みを活用し、リサイクル分野での存在感も高めていく意向だ。

炭素除去 同社はまた、人工石灰石の利用を進めるなど技術開発にも積極的

セメント産業では特定の手段でCNを達成することは難しく、多様な手段を実行する必要があるためだ。

小堺常務執行役員は「複数の手段を組み合わせて、削減効果を積み重ねることによってCN達成を目指す」構えだ。

同社はさらに、セメント産業が製造時に廃棄物を大量に再利用している点も訴求したい